

民進党長島派「国軸の会」の心意気

民進党の第3世代とは、2000年以降に当選した議員を指すが、人材がかなりそろっている。12日夜、長島昭久衆院議員(当選5回)と写真

真を会長とする「国軸(こくじく)の会」の4議員と経済人の懇親会が、東京・赤坂の料亭で

行われた。長島氏のほか、

吉良州司(同4回)、鷲尾

英一郎(同4回)、北神圭朗(同3回)の各衆院議員である。

国軸とは何か。長島氏の説明。

「政権を失った翌年(2013年)夏、仲間7人で奈良県吉野町で

合宿した。その時、『熊野・吉野・平城京を結ぶラインが国軸だ』と教



えられた。「神武天皇即位」「壬申の乱」「建武の中興」。いずれも、この軸で起きている、と。そこで派閥の名に借用した」

いま9人の派閥で「落選中を含めて18人」という。その意気込みは。

「国益を考え、国家のために頑張る。具体的には、政権交代可能な現実的な対案を示す。下野してから、政権準備政党にならないければならないのに、いま万年野党の路線を歩んでいる。批判はうまいが、自民党に取って替わる姿勢が見えない」

衆院大分1区で、自民党候補を破っている吉良氏が言った。

「われわれは民進党にも、かつて

の民進党にもこだわっていない。興味もない。民進党にこだわらる人間はわが派には入れない」

さらに、次のパンチ。

「国民に寄り添う、耳を傾けるとか、迎合をした」とはない。消費税増税は賛成で20%は必要だ。TPP

(環太平洋戦略的経済連携協定)は賛成。原発は再稼働すべきだ」

鷲尾氏が言った。

「党内非主流派だが、覚悟を持っており、『われわれしか党を改革できない』と確信している」

北神氏は1歳から米ロサンゼルス市に移り、「小中高の18年間、少数

民族の差別を受けながら過ごした。これが政治で屈せず頑張る原点になっている」という。帰国して、京都

この日、社民党から民進党との合流話が起きた。長島氏が言った。

「話を聞いて目の前が真っ暗になった。選挙で共産党と連携する。社民党と合流なら一段と左傾化する。われわれの右舷はますます軽くなる」

吉良氏が言った。

「成長ですべてを解決する時代は終わろうとしている。アベノミクスに代わる、成長でない経済の新機軸をわれわれは打ち出す。それが二大政党による政権交代だ」

この国軸の会、近くアクションを起しそうである。(政治評論家)

鈴木棟一の
風雲永田町

5370

た。

「迎合せず、TPP・原発賛成」